

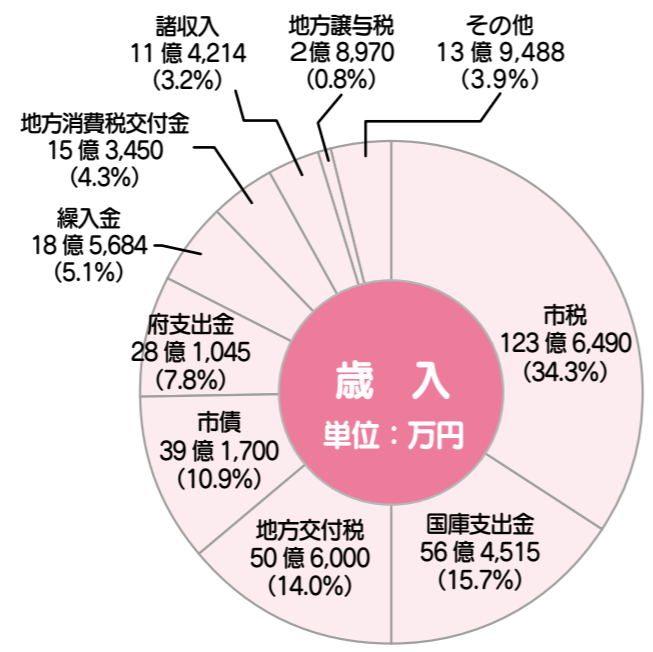
# 「舞鶴版地方創生」の実現に向けて力強くスタート

**高**速道路網の完成、京都舞鶴港の機能強化により、「人流」「物流」が劇的に変化する平成27年度においては、本市の特色ある歴史や文化、豊かな自然などの魅力、地域資源を最大限に活かし、定住人口の減少を抑制するとともに、交流人口のさらなる拡大を図り、定住人口10万人に匹敵するまちの活力を実現する「交流人口300万人・経済人口10万人」都市を目指します。

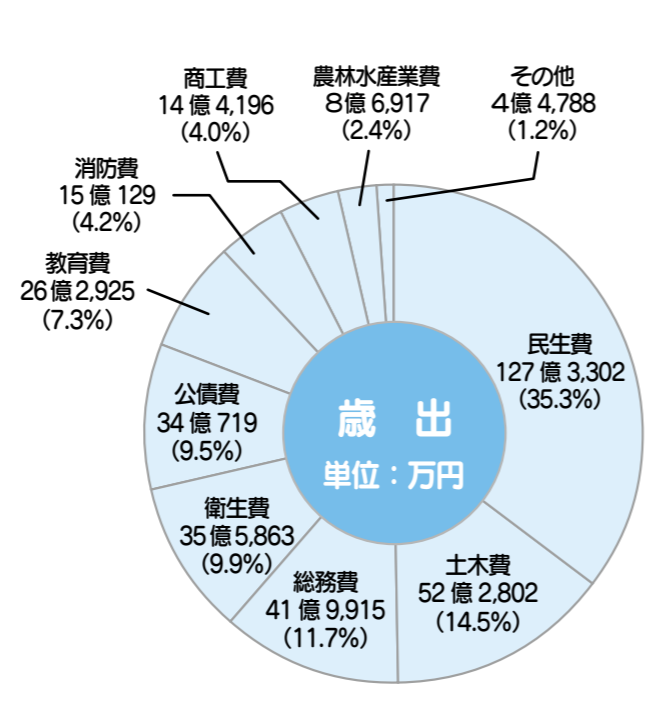
そのために、まちづくりの重点事項として「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」の3つを掲げ、全国に先駆けた「舞鶴版地方創生」に地域一丸となって取り組めるよう、力強くスタートを切るための予算編成を行いました。

## 一般会計 360億 1,556万円

- ◆歳入
  - 【市税】 市民の皆さんが納める税金
  - 【国庫支出金】 国からの負担金や補助金
  - 【地方交付税】 財政力に応じて国から交付されるお金
  - 【市債】 道路や公共施設の整備などのために借り入れるお金
  - 【府支出金】 府からの負担金や補助金
  - 【繰入金】 基金や積立金から取り崩すお金
  - 【地方消費税交付金】 消費税を財源に府から交付されるお金
  - 【諸収入】 貸付金の元利収入や雑入など
  - 【地方譲与税】 国の税金として納められたものを譲与されたお金
  - 【その他】 使用料・手数料や分担金、寄付金など



- ◆歳出
  - 【民生費】 高齢者・子ども・障害者の福祉や生活保護などの経費
  - 【土木費】 道路、橋りょう、河川、公園などのまちの基盤整備のための経費
  - 【総務費】 市役所の運営、市税の賦課、戸籍・住民基本台帳や選挙などに係る経費
  - 【衛生費】 市民の健康維持やごみ処理などの経費
  - 【公債費】 市債(借入金)の返済に充てる経費
  - 【教育費】 学校教育や生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツの振興のための経費
  - 【消防費】 火災や風水害から市民の生命、財産を守るための経費
  - 【商工費】 商工業や観光の振興、中小企業への支援などの経費
  - 【農林水産業費】 農林水産業の振興を図るための経費
  - 【その他】
    - ◆議会費…市議会の運営
    - ◆労働費…雇用対策など
    - ◆予備費



### 舞鶴市の予算を家計に例えたら…

収入 (歳入)		27年度	26年度
給料、家賃収入 (市税、使用料、手数料、諸収入などの自主財源)		145億円	148億円
親からの援助 (地方交付税、地方譲与税、国・府支出金)		157億円	148億円
貯金取り崩し (繰入金、繰越金)		19億円	28億円
ローン借り入れ (市債)		39億円	44億円
<b>合計</b>		<b>360億円</b>	<b>368億円</b>

支出 (歳出)		27年度	26年度
食費 (人件費)		65億円	61億円
医療費、教育費 (扶助費)		82億円	82億円
ローンの返済 (公債費)		34億円	36億円
光熱水費、通信費、日用品費 (物件費)		48億円	48億円
保険料、サークル活動費、町内会費 (補助費など)		25億円	29億円
家の増改築・修繕、家具の買い替え (普通建設事業費など)		51億円	58億円
子どもへの送りなど (出資金、貸付金、繰出金)		55億円	54億円
貯金 (積立金)		-	-
<b>合計</b>		<b>360億円</b>	<b>368億円</b>

◆基金  
基金とは、市の貯金のことです。急激な支出の増加による歳入不足に備えたり、特定の事業を行う目的で積み立てを行い、市民サービスの向上やまちづくりの推進のために活用しています。平成27年度の基金(貯金)残高は、一般会計で62億2千万円となっており、平成26年度末と比較すると18億5千万円減少しています。

区分	27年度末見込み	26年度末見込み	増減
一般会計	62億2,213万円	80億6,771万円	△18億4,558万円
特別会計	33億2,042万円	35億4,754万円	△2億2,712万円
合計	95億4,255万円	116億1,525万円	△20億7,270万円

◆市債  
市債とは、財政運営を円滑に行うために行う借入金のことです。平成27年度末における市債(借入金)残高は、一般会計で371億8千万円となり、平成26年度末と比較すると8億8千万円増加する見込みですが、これは、返済額の全額が地方交付税に加算される臨時財政対策債が増加したことによるものです。

区分	27年度末見込み	26年度末見込み	増減
一般会計	371億7,902万円	362億9,901万円	8億8,001万円
建設地方債	213億4,817万円	213億4,938万円	△121万円
臨時財政対策債等	158億3,085万円	149億4,963万円	8億8,122万円
特別会計	383億2,722万円	379億3,303万円	3億9,419万円
企業会計	65億9,168万円	65億2,352万円	6,816万円
特別会計	317億3,554万円	314億951万円	3億2,603万円
合計	755億624万円	742億3,204万円	12億7,420万円

【臨時財政対策債】道路や施設などの建設事業に充当する通常の借入金とは異なり、国から交付されるべき地方交付税の一部を補うために借り入れるお金。返済額の100%が後年度の地方交付税で措置されるため、返済にかかる実質的な市の負担はありません。

### 市債(借入金)の豆知識

市の借入金である市債には、家庭でのローン(借金)とは異なり、次のような目的や意味があります。

- ◆公共施設の建設など一度に多額の費用を必要とするものは、分割して返済することで財政の負担を軽くします。
- ◆何十年も使用される施設などの建設費は、今の世代だけでなく、施設を利用する次の世代の方にも公平に負担していただくことになります。
- ◆市債の中には返済額の一部が地方交付税として交付される、財源的に有利なものもあります。これらの市債は、借り入れを行うことによって実質的な市の負担が軽減されます。

将来に過度の負担とならないよう、身の丈に合った借り入れを行っています。

## 特別会計 289億 7,728万円

区分	27年度	26年度	増減
国民健康保険事業	103億8,389万円	91億2,250万円	12億6,139万円
簡易水道事業	9億5,476万円	6億8,430万円	2億7,046万円
土地建物造成事業	398万円	448万円	△50万円
貯木事業	101万円	101万円	-
下水道事業	47億2,884万円	47億8,034万円	△5,150万円
駐車場事業	4,667万円	4,534万円	133万円
介護保険事業	78億5,727万円	86億5,913万円	△8億186万円
後期高齢者医療事業	11億8,827万円	11億3,666万円	5,161万円
計	251億6,469万円	244億3,376万円	7億3,093万円

区分	27年度	26年度	増減
水道事業	28億1,476万円	27億4,108万円	7,368万円
病院事業	9億9,783万円	11億1,174万円	△1億1,391万円
計	38億1,259万円	38億5,282万円	△4,023万円